

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目の や 等）から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
.理念に基づく運営	22
1.理念の共有	3
2.地域との支えあい	3
3.理念を実践するための制度の理解と活用	5
4.理念を実践するための体制	7
5.人材の育成と支援	4
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1.一人ひとりの把握	3
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作	3
3.多機能性を活かした柔軟な支援	1
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協	10
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1.その人らしい暮らしの支援	30
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
.サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

【取り組みの事実】

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

【取り組んでいきたい項目】

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

【取り組んでいきたい内容】

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容、事実があれば、それを含めて記入します。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営、運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指しま

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者、職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（1から 87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（88から 100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ゆっくりゆっく
（ユニット名）	
所在地 （県・市町村名）	横手市
記入者名 （管理者）	菊江 清子
記入日	平成21年 7月 31日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念をもとに、日々の仕事に努めています。勉強会やミーティング等でも常に確認しています。	
2	理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に掲示し、常に目にふれるようにしています。勉強会等でも常に確認しています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホーム開設前、地域の皆様との話し合いの場を設け、理念、役割等の説明をしました。ご家族へは事前面談時に説明し、理解していただけるよう努めております。	
2.地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご近所を散歩中、気軽に声を掛けてくださいます。野菜や果物の差し入れや除草を手伝ってくださる方もおります。日常のご近所付き合いができるよう努めております。	年4回発行のホームのたよりを、地域のお宅には直接届け、なじみの関係づくりに努めています。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の一員として、総会や側溝掃除、夜回り等の行事に参加しています。	地域の方々に行事参加の案内を出していますが、時間帯が合わず、今までに参加はありません。交流の機会を検討中です。

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	自治会の集まりなどで、介護についての相談等を 受けています。		特別な集まりのときだけでなく、日頃から介護の 相談等も受けたいと思っています。
3.理念を实践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員個々に記入し、管理者が取りまと めるようにしています。自己評価により職員の姿 勢や問題点を明らかにし改善に活かしています。 外部評価についても、勉強会等で話し合い、改善 項目に対しては速やかに対応しています。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	毎月の行事や取り組み等の報告を行っています。 運営推進会議での内容は会議録に記録し、ミー ティングや勉強会等で報告し、意見交換を行っ ています。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	毎月、月初めに横手市高齢ふれあい課より、横手 市内のグループホームの空き状況が居宅介護支援 事業所に送られる体制があります。同課の職員に も相談に対して助言をいただいております。		昨年のホームの敬老会には、横手市の担当者の方 に参加をいただきました。行事等を通して、ホー ムをもっと身近に感じていただくよう検討した いと思います。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	研修やホームの勉強会等で学ぶ機会をつくって おります。		職員の研修参加を増やしていきたいと思 います。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	委員会を設置し、定期的に勉強会を開催するよ うにしています。		職員の研修参加を増やしていきたいと思 います。

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書や重要事項説明書等を利用しながら、ご利用者やご家族が安心して利用できるよう説明をしています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員が月2回来てくれます。その都度報告を受け、改善できるよう努めております。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月一回、請求書と一緒に文書にて状況報告をしています。その他、面会時や電話にて報告、相談しています。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書、ホームのたより(年4回発行)に外部の苦情受付機関について掲載しています。苦情ボックス等の設置はしていませんが、日頃よりご利用者、ご家族とは何でも話せる関係作りに努めております。</p>	<p>面会の少ないご家族に対しても電話連絡等で状況報告しながら、日頃思っていることを話していただける関係づくりに努めたいと思います。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議やミーティングを通して職員の意見等を聞く機会を設けています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事など、その都度対応できるよう職員の調整を行っています。</p>	

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の移動は最小限にしています。事前にご利用者へ説明をしたり、時々訪問してもらう等の対応をしています。離職についても日常会話を通して説明し、理解いただけるよう努めています。</p>		
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験や職員からの申し出等を考慮しながら研修に参加してもらうよう計画を立てています。OJTについても、管理者がミーティング等を利用して実施しています。</p>		<p>職員が持ち回りで講師となり、資格や経験をいかした勉強会等を開催したいと考えています。</p>
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>横手市グループホーム協会に参加しています。勉強会等で交流する機会を持っています。</p>		<p>法人内の他事業所との懇親会を年2回開催しています。</p>
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日常的に管理者が相談にのれるよう配慮し環境づくりをしています。場合によっては異動等の対応も検討しています。</p>		
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>一人ひとりの資格や特技などが活かせるように配慮しています。仕事の状況について、常時確認とアドバイスすることで各自のやる気と自信を引き出すことが出来ていると思います。</p>		<p>介護福祉士や介護支援専門員の資格習得を目指させたい。</p>

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前調査の段階で、十分に話を聞き、ご本人の不安を取り除く努力をしています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前調査の段階で、十分に話を聞く機会をつくっています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人とご家族の状況を十分に話し合い、場合によってはグループホーム以外の介護サービスに対する助言等を行っています。</p>	<p>在宅での生活が可能と思われるケースについては、関係機関と相談しています。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前には、できるだけ見学に来ていただき、他利用者や職員とのふれあいの時間を設けています。利用後も職員の仲介により、徐々に馴染めるよう努めています。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は常にご利用者と共に生活していることを意識して働いています。日々の生活の中で教えられることも多く、助け合える環境づくりをしています。</p>	

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連絡を密に、信頼関係が築けるよう努めております。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	定期的な状況報告をしています。ご本人やご家族の情報をもとに関係を理解し、これまで以上に良い関係になれるよう努めています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や元同僚の方々に連絡し、面会をお願いしています。ご家族から聞いたとのことで、近所の方が遊びに来てくれることもあります。		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者一人ひとりの性格や状態を職員が共有し、職員が仲介することでご利用者同士が関われるよう支援しています。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	定期的に連絡し、状況を伺っています。退所先の施設等からの相談に対しても情報提供しています。		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常会話の中で、要望等を汲み取るよう努めています。ご家族や介護相談員からも、情報が得られるよう協力いただいています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご利用者やご家族、ケアマネより生活歴等について話を伺っています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>生活のなかでご利用者の性格や行動を把握し、場面に適した支えあいを支援しています。ケース記録は出勤後必ず確認するようにしており、ミーティング等でも話し合っています。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>勉強会やミーティング等で情報交換を行っています。ご家族とは、面会等を利用しご利用者や家族と相談しながら作成しています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>短期目標の期間前にモニタリングし、長期目標の期間前にはモニタリング、再アセスメントし、計画の見直しをしています。また、状態変化に対しても関係者と相談しながら見直しを行っています。</p>	<p>年2回現状調査を行い、その記録もアセスメントに活かしています。</p>

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は個人ごとに記録し、会話の内容や日常の変化を具体的に記録しています。また、年2回現状調査を行い、ご利用者の状態変化について記録しています。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	訪問しやすい雰囲気（職員の言葉使い、対応等）に努めています。居室でご家族と一緒に過ごす場合は、訪問を控える等ゆっくり過ごせるよう努めています。		これまでに、ご家族がホームに宿泊したいとの申し出はありませんが、今後は対応できるよう検討中です。
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	近隣小学校のボランティアの受け入れ、医師の往診等、関係機関の協力を得ながら支援しています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	福祉用具の使用、ご利用者の状況に合った施設利用等、関係機関との連絡調整を行っています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	これまで実績がありません。		今後必要な場合は、包括支援センターに相談し助言をいただけるよう考えております。

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご利用者のホームでの生活状況等の情報を提供しています。ご本人の状態に合わせ、不安を取り除く声掛けや対応をしています。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>勉強会やミーティング等で、ご利用者の自尊心を傷つけないよう声掛けや対応には十分に注意することを確認しています。職員は個人情報保護に関する契約書を結び、退職後も守秘義務が継続することを理解してもらっています。</p>		<p>居室には名札をつけず、目印になるもので対応しています。</p>
<p>51</p> <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日常会話の中で、希望や思いを汲むようにしています。外出先での食事の選択、買い物、余暇活動の選択等生活の中で、自分で決定できる場面をつくっています。</p>		
<p>52</p> <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個別の支援を心がけ、一人ひとりのペースで生活していただけるよう支援しています。</p>		<p>食事時間と入浴の時間は概ね決まっていますが、ご利用者の希望により対応できるよう支援しています。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>自分で決められない入居者には、職員と相談しながらそれぞれのおしゃれを支援している。理美容院へ行ったり、ホームに訪問していただき、希望にあった髪型の支援をしています。</p>		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食時前のテーブル拭きや調理の下ごしらえ等、ご利用者が無理なく参加出来るよう支援しています。食事中も誰かが亡くなった等の話はしないよう、話題にも気をつけています。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご本人やご家族と相談し、できるだけ希望に添えるよう支援しています。ペットの持ち込みはご遠慮いただいております。		これまでに喫煙者はいませんでした。晩酌をされる方はご家族や医師と相談し対応しています。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	排泄チェック表の活用。状態を見ながらリハビリパンツを取りパットだけにするような支援をしています。また、プライバシーには十分配慮し、大声での誘導等はしない。失禁時もの騒がず静かに行なうようにしています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を決めて行っていますが、ご利用者やご家族の希望や健康状態を考慮し、時間帯にとられない入浴ができるよう支援しています。疾患により制限される場合は、医師の指導のもと、入浴しています。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不眠のある入居者には昼夜逆転にならないよう、日中活動の充実を図っています。薬剤についても、家族や医師と十分に話し合い使用することとなっています。午前10時、午後3時にお茶の時間を設けていますが、それ以外にも状況を見ながら休憩（お茶、横になる等）できるように支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割を持つことで、その方の表情が豊かになります。農作業や家事等状況を見ながら個々が活躍できる場面をつくっています。		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	自己管理できる入居者は自分で管理しています。 できない方は、小遣い預かりサービスを利用し ています。職員と買い物に出掛ける機会もつく っています。		ご利用者の状態にもよりますが、通院や買い物時 は、できるだけご自分で支払い等ができるよう支 援していきたいと思います。
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	広い庭を利用し、散策、畑仕事等引きこもりにな らないよう支援しています。また、近隣の方と会 話している姿も見られます。外出は自由であり、 個々の状態を見ながら介助や見守りの対応をし ています。		広い庭を利用し、安全に散策等ができるよう遊歩 道の整備を検討しています。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	ご利用者の要求を聞き、家族と相談しながら実現 にむけ取り組んでいます。少人数でのドライブ、 外食等を行っています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している	電話は随時、居室にて子機を使用し対応していま す。携帯電話を利用している方もいます。手紙の やり取りも自由ですが、電話の希望が多いよう です。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの 人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	面会時間(食事の時間、昼休み、夜間以外)は決 まっていますが、訪問しやすい雰囲気(職員の話 し方、対応等)に努めています。なかなか面会に これないご家族にも、時間をつくっていただくよ う連絡しています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	身体拘束は全くありません。薬剤についても家族 や、医師と十分に相談しています。また、委員 会を設置し、身体拘束について勉強する機会を ついています。		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	日中は鍵を掛けていません。外出は自由であり、個々の状態を見ながら介助や見守りの対応をしています。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーには十分に配慮しながら、常に所在や様子を把握できるよう努め安全に配慮しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物や薬品は、誤飲や事故がないよう保管場所等明確にしています。はさみや消臭剤等を自己管理しているご利用者もいますが、全職員が管理していることを把握しており、事故にならないよう気をつけています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時対応マニュアルを作成し、勉強会等で確認しています。個人の状態を把握し、誤薬の心配のある方は職員が服薬を管理、確認する等の対応をしています。ひやりはっと、事故報告書を作成し、再発防止の話し合いを実施しています。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	救命蘇生の講習の開催。(応急処置についても) A E Dについても受講しています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	全職員がホーム周辺の危険箇所を把握しています。事前に個々の状態にあった避難方法を話し合い、避難訓練等を実施しています。火災等発生時は地域の協力を得られる体制にあります。		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご家族へは、状況報告、面会時等で説明しています。ご利用者の行動（見当識、収集等）を把握しており、他者とトラブル等にも事前に回避できるよう職員が対応することとなっています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	身体状況の変化には、管理者に連絡する体制をとっています。その際の記録も具体的に書くようにし、全職員が共有できるようにしています。体調変化の際は、ご家族や医療機関に連絡することになっています。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容についての注意点は、各個人ファイルに綴じ確認できるようにしています。また、特別な薬についてはその使用方法、副作用等詳しい内容を全職員が把握できるようにしています。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	勉強会やミーティングで確認しています。下剤についても使用量や注意事項を医師と相談し、全職員に伝えています。チェック票も活用しています。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨き、入れ歯の消毒等個々に支援しています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病の方には病院の管理栄養士の指導や助言を受け対応しています。水分制限のある方には軽量カップで、一日の水分摂取量が分かるようにしています。		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防委員会を設置し、マニュアル通り実施しています。冬期間はハイター等でホーム内の清掃を行い、訪問者に対しても手洗い等協力をお願いしている。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は毎日消毒を行っています。食材も、買い置きせず、随時補充するするようにしています。		
<p>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一般家庭と変わらないよう、家庭的な雰囲気づくりに配慮しています。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を心がけ、昔のタンス等を置いたり絵や花を飾ったりし、物品にも気を配っています。トイレの汚れも気づいたらすぐに掃除し、臭いに気をつけています。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングは一箇所ですが、テーブルがわかれており、それぞれ気の合った人同士が過ごせるようにしています。		

グループホームゆっくりゆっくり

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>職員の都合で模様替えや家具等の配置換えをしないよう徹底しています。移動する場合はご本人、ご家族に説明し承諾のもと行っています。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>庭に遊歩道をつくり、車椅子でも安全に散策ができるよう検討中です。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

.サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

グループホームゆっくりゆっくり

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

広い庭を利用し、行事や畑仕事を行っています。花や木に囲まれ、季節を感じながら生活が出来るよう工夫しています。また、家族の一員として、日々笑顔があふれ安心し